

健康福祉常任委員会

健康福祉部・こども健やか部・市民医療センター

【令和6年度市民医療センター特別会計補正予算】

委員 内科医1人の欠員が続く理由は。

執行部 募集は続けているが、民間の診療所より報酬の面で劣り、駅から離れた立地に弱みがあると推察される。

委員 市内在住の潜在医師に積極的な働きかけを。

【令和7年度予算】

委員 重層的支援体制整備事業に係る委託内容は。

執行部 相談業務に5年以上従事経験を有する専任ケースワーカー1人を配置し、相談支援やアウトリーチのほか、重層的支援に関する各窓口への周知や研修も行う。

委員 令和6年3月から支給を開始した「とだ保育士応援手当」に対する保育園の運営法人や保育士の反応は。

執行部 アンケートの結果、人材確保につながったと答えた法人が約62%、手当に満足と答えた保育士が約90%だった。保育士不足解消に向け、継続していきたい。

委員 東部福祉センター体育室の空調および天井の改修に関する工事スケジュールは。

執行部 令和7年度に設計し、令和8年度に工事を行う予定。空調の入らない令和7年の夏はスポットクーラーをレンタルし、安全性を担保する。



工事が予定される東部福祉センター体育室

市民生活常任委員会

市民生活部・環境経済部・水安全部

【文化芸術推進条例】

委員 文化芸術の推進に当たって、条例に財政面の考え方を規定しているか。

執行部 検討委員会での意見を踏まえ、財政上の措置を講ずることを規定している。

委員 将来的に形だけのものにならないよう財政面からも支えてほしい。

【令和6年度補正予算】

委員 令和6年度の戸田ふるさと祭りは台風により中止となったが、気候を考慮し時期を変更する考えは。

執行部 熱中症のリスクもあるため、時期の変更の可能性を検討している。

委員 新住民が多い本市で郷土愛を感じられる盆踊り的な発想から始めた歴史があるので、郷土愛の部分は残しつつ、新しい視点で祭りを盛り上げてほしい。

【令和7年度予算】

委員 ゼロカーボン推進補助金の変更点は。

執行部 個々の補助金を一本化し、太陽光発電システムや電気自動車の導入、省エネ家電の買い換え補助など複数のメニューを用意している。また、買い換え後の事後申請を可能とし、使いやすい補助金になる。



戸田ふるさと祭りの開催時期の検討とさらなる盛り上げりを

各派代表者が市長に聞く！

総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表制質問のことです。

今定例会では、3月5日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをただしました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の総括質問の録画配信映像をご覧ください。



JR沿いの荒地は
市民ニーズに合った活用を

JRと協議し、進めていく

戸田の会
酒井 いくろう 議員

議員 埼京線沿いの荒地（環境空間）の活用にあたり、例えばJR側に十分な側道整備のための土地提供を求め、市側は整備費用の負担や接続道路の建設を行うなどの役割分担が考えられる。JR側としっかり連携し、市民にとって価値の高い活用方法を。

市長 環境空間沿線については、本市が目指すまちづくりと整合が図られるようJRと協議を進める。

「健康づくり」は、発想の転換を！

議員 スポーツセンターの昼間の時間帯は、シニアの利用を無料とすることで、施設にとっては利用者の少ない時間帯の集客となり、市にとっては運動するシニアが増えて医療介護予算の削減によりお釣りがくる。同じ発想で、tocoバスの

昼間の無料化も良い。利用者負担の原則は分かるが、自由な発想により3者にメリットのある政策となる。

市長 健康情報を広く口コミで発信し、健康リテラシーを底上げする健幸アンバサダー制度を実施する。

美笹中学校、西部福祉センターの建て替え

議員 美笹中、西部福祉センターは地域随一の貴重な公共施設。建て替えは100年に1度のチャンスなので、地域課題の解消を同時に検討すべき。

市長 検討部会、市民ワークショップを開催してきた。地域ニーズや「美笹中の生徒数の見直しや今後のプール・体育館の建て替えを考慮して一体的に検討する」という考えを含め、検討を進めていく。



埼京線沿いには広大な荒地（環境空間）が40年以上放置されている